

インバウンド イノベーション京都

KYOTO Inbound Tourism Innovation program

インバウンド向け観光コンテンツ造成支援プログラム

インバウンドの受け入れ再開が加速していく中では、京都の歴史や文化への関心がある、知的好奇心の高い方々のニーズにしっかりと応えられる、持続可能で質の高い滞在体験を生み出す仕組みづくりが一層重要となります。そこで、京都市観光協会では、インバウンド向けに新しいコンテンツ開発を行おうとしていらっしゃる事業者の皆様の課題に寄り添い、商品化に向けて伴走支援を行うプロジェクト「インバウンドイノベーション京都」を2022年度に続き実施します。

インバウンド向けコンテンツの企画から販売までを伴走支援

人材確保・ネットワークづくり



- ・相談できる仲間がほしい。
- ・コラボできる事業者とつながりたい。

- 交流機会の提供
(京都インバウンドカフェ等への優先参加)
- 他事業者様とのマッチング

採算性・事業計画



- ・採算がとれるのかが不安
- ・資金調達が困難
- ・事業の計画性が妥当か不明

- 事業計画のアドバイス
- 補助金や融資等の紹介

企画・検証・ブラッシュアップ



- ・最近のインバウンドの動向やニーズがわからない。
- ・コンテンツをどう作ればよいかわからない。
- ・企画しているコンテンツが本当に売れるかがわからない。

- 各種データや参考資料の提供
- 「目利き」によるアドバイス
- モニターツアーやファムトリップ等の実施支援

販売・情報発信



- ・効果的な販売方法がわからない。
- ・情報発信の仕方がわからない。

- ホテル、旅行会社、OTA、海外メディア等への紹介
- 協会公式サイト、SNS等を通じた情報発信・流通支援
- コンテンツを紹介するための画像撮影、記事制作支援

※本事業では補助金による支援は行いません。

京都市観光協会のネットワークを活かした「目利き」によるアドバイス

伴走支援にあたっては、「京都信用金庫」をはじめ、京都市の認定通訳ガイド「京都市ビジターズホスト」、市内ラグジュアリー向けホテルにて活躍するコンシェルジュの集まりである「京都コンシェルジュ研究会」、海外有カメディアとの関係構築や情報発信、京都取材への誘導に取り組んでいる「京都市海外情報拠点（主要6都市）」などの「目利き」ネットワークを活かし、アドバイス等を得ながら質の高いコンテンツづくりを進めていきます。



京都コンシェルジュ研究会

京都市ビジターズホスト (KVH)

京都市海外情報拠点 (6都市)

概要

本プログラムのサポートを希望する事業者を募集します。応募書類を提出していただき、採択した事業者の進捗状況や課題に応じてサポートをさせていただきます。

応募資格

- ・インバウンドの受け入れを意識した新規のコンテンツ、もしくは既存のコンテンツをリニューアルさせる形で新たな企画を考えている法人もしくは個人
 - ・京都市観光協会もしくは京都文化交流コンベンションビューローの会員であること。今回新たに会員になっていただける方でも応募可能です。(採択された場合)
 - ・京都市内で事業を展開しようとしていること。(市内に事業所がなくても応募可能)
 - ・当協会が設定しているターゲット層の考え方(※1)に同意していただけること。
 - ・京都観光モラル推進宣言(※2)事業者であること。
 - ・採択された場合に、当協会が実施する調査等の事業に協力できること。
- (※1)「無形資産に価値を見出し、新しい体験に投資し、成長を楽しむことを重視する人」と定義しています。
(※2) 京都観光に関わる全ての皆様が、お互いを尊重しながら持続可能な京都観光をともに創りあげていくことを目指し、事業者・従事者、観光客、市民それぞれの行動基準を示したものです。事業者の皆様と大切にしていきたいこととしては、「市民生活と観光の調和」「質の高いサービス」「環境・景観の保全」「災害対応等」を挙げており、これらの取り組みを推進する企業や団体等を募集しています。

応募方法 選考方法

① エントリー

※京都市観光協会の公式サイトにある申込フォームからエントリーして下さい。



② 応募書類の提出

※エントリー後の自動受付メールにあります URL から応募書類をダウンロードの上、事務局宛にメールでご提出下さい。

※メ切はありませんが、想定数(約10件)に達したら受付を終了しますので、予めご了承下さい。

※企画内容が固まっていない段階で結構ですので、ご関心がありましたら、まずはエントリーして下さい。

※必要に応じてヒアリングをさせていただく場合があります。

③ 採択可否の決定・通知

※新たに会員入会を検討されている方が採択された場合は、併せて入会手続きの案内を送ります。

※採択可否は事業マインド、品質・獨創性、地域貢献・持続可能性等をふまえて判断します。

※審査項目や注意事項、エントリーフォームなどの詳細は協会の公式サイト(右上のQRコード)をご覧ください。

① インバウンドイノベーション京都

- 会員限定伴走支援プログラム
- 応募書類を提出していただき、10件程度を採択予定
- 採択事業者のペースにあわせて伴走支援

2023

8月

募集開始 エントリー後に応募書類をご提出下さい。

・採択件数が上限に達したらメ切

審査・採択(随時)

10月

伴走支援開始(随時)

メニュー例

- ・事業実施にあたってのレクチャー
- ・コンテンツ企画支援
- ・マッチング支援
- ・事業計画や採算面のアドバイス
- ・コンテンツ案の実証実験
- ・コンテンツ案に対する、「目利き」からのアドバイス
- ・ホテル等とのマッチングイベントの開催
- ・情報発信支援・流通・販売支援
- ※事業者の課題に応じて実施

2024

3月

コンテンツ販売開始(随時)

報告会の開催(2024年度)

② 「京都インバウンドカフェ」の開催

- 事業者同士のネットワークづくりを促進しつつ、これからのインバウンド向けコンテンツのあり方を考える交流イベント(ゲストの対談や参加者同士の交流等を実施)
- 会員以外も申し込み可能
- 要事前申込(申込者が多い場合は抽選)
- 京都観光 MICE ニュースレターで最新情報をお知らせします。ぜひご登録下さい。



第6回

どうなる中国市場？

コロナ禍を経た旅行・消費動向の変化

日時

9月1日(金) 16:00~18:00

場所

QUESTION(中京区河原町通御池下る下丸屋町390-2)

第7回

“世界の京都”にふさわしい？

多言語表記から考えるおもてなし

日時

10月18日(水)

場所

マツシマホールディングス コミュニティサロン

第8回

他地域のインバウンド向け

コンテンツ造成支援の取り組み(仮)

日時

12月中旬

場所 未定

第9回

富裕層の旅行実態と京都へのニーズ(仮)

日時

2024年2月中旬

場所 未定

※第7回以降のテーマは仮です。順番や内容、時期などは変更になる可能性があります。